

彙報

京都大學文學部哲學科講義題目

— 昭和二十六年度 —

哲 學

- 講義 山内 教授 Logonomic, Autonomie, Hrautonomie
 研究 山内 教授 第四の論理
 今田 講師 ウイリアム・シェームスの研究 (Pragmatism を中心として)
 山元 講師 質存哲學の系譜
 伊藤 講師 記號論理學
 山内 教授 Kant: Kritik der reinen Vernunft (前學年の續き)
 山内 教授 Thomas: Summa Theologica
 西洋哲學史
 講義 田中 教授 古代哲學史概説
 高田 教授 中世哲學史概説
 野田助教 近世哲學史概説 (前學年の續き)
 田中 教授 プラトン哲學の諸問題
 高田 教授 Thomas Aquinas, De Ente et Essentia の研究
 野田助教 デカルト哲學研究 (前學年の續き)

田中 講師 聖トマスにおける倫理の根本問題

田中 教授 Πλατωνος ἠθικός

田中 教授 Πλάτωνος Τηταίος (主として大學院學生のため)
 高田 教授 Augustinus: Confessiones
 Thomas: Commentaria in Aristotelis Metaphysicam

野田助教 Hegel: Vernunft in der Geschichte
 三村 講師 Kant: Erste Einleitung in die Kritik der Urteilskraft

田中 教授 ギリシヤ語(初級) (哲學「演習」と共通)
 高田 教授 ラテン語文法 (哲學「演習」と共通)

三村 講師 Kant: Prolegomena (前學年の續き)
 「新制講義」(哲學「新制講義」と共通)

印度哲學史

- 講義 松尾助教 印度哲學史
 研究 松尾助教 古代印度の自然哲學
 佐保田講師 數論 (Sankhya) 思想の起源
 松尾助教 Kega vanaṃśra: Tarka-dhara
 支那哲學史
 講義 重澤 教授 支那思想史
 研究 重澤 教授 皮錫瑞「春秋通論」批判
 重澤 教授 文獻批判の精神 (前學年の續き)
 演習 重澤 教授 漢書王莽傳 (前學年の續き)

重澤 教授 汪中「述學」
森 講師 禮記注疏

西田 講師 資治通鑑(中國語學中國文學「演習」と共通)

心理學

講義 矢田部教授 心理學概論(二學期より)

研究 園原助教授 發達心理の問題

和田 講師 知覺心理學

矢田部教授

園原助教授 現代心理學の諸問題

八木 講師

演習

矢田部教授 心理學上級實驗(舊制)

園原助教授

八木 講師

矢田部教授 心理學初級實驗(舊制)

園原助教授

八木 講師

佐藤 講師 實驗心理學初級演習(新制)

和田 講師

八木 講師

倫理學 心理學外國文獻講讀

講義

島 教授 倫理學の根本問題

研究

島 教授 市民社會の倫理

岸畑 講師 へーゲルに於ける人倫の成立

演習

島 教授 Schelling: Das Wesen der menschlichen Freiheit (前學年S續々)

保田 講師 J. S. Mill: Utilitarianism (新制講讀)

教育學教授法

講義 下程 教授 教育學概論

研究 下程 教授 教授法の基本問題

下程 教授 教育の人間學的基礎(後期から)

黒丸 講師 精神衛生學

下程 教授 (Th. Hobbes: Interaction)

餘坂 講師 (教育學S諸問題)

末永 講師 教育心理學的實習

學坂 講師

美學美術史

講義 井島 教授 美學序論

研究 井島 教授 再現・抽象・表現

上野 講師 印度繪畫史

佐和 講師 日本の佛教美術史

吉川 講師 西歐におけるローマネック美術

演習 井島 教授 Kant: Kritik der Urtheilskraft (前學年S續々)

井島 教授 美學の諸問題

社會學

講義 白井 教授 社會學概論

研究 白井 教授 日本村落に於ける生活の共同

江藤 講師 社會調査の原理

演習 白井 教授 社會學の諸問題

姫岡 講師 Cooley, C. H.: Social Organization

哲學研究 第四百三號

宗 教 學

講義 武内助教 宗教學概論

研究 武内助教 東西神祕主義の比較的研究

演習 棚瀬 講師 宗教民族學

武内助教 武内助教 Hegel: Vorlesungen über die Philosophie der Religion (Zweiter Teil: Die bestimmte Religion 等)

武内助教 宗教學の諸問題

武藤 講師 Otto: Das Heilige (新制)

佛 教 學

講義 長尾 教授 佛教學序説

研究 長尾 教授 攝大乘論の研究

塚本 講師 漢譯佛教圈に於ける諸問題(前學年の續き)

舟橋 講師 原始佛教思想論

演習 長尾 教授 維摩經

長尾 教授 梵文寶鬘論 (Ratnavali)

山口 講師 西藏文講讀(月稱釋四百論)

基 督 教 學

講義 有賀 教授 基督教學序論

研究 有賀 教授 初期基督教に於けるグノーシスの問題(前學年の續き)

演習 有賀 教授 ヨハネ文書の神學思想(九月から)

演習 有賀 教授 原典新約理書の研究(ロマ書一三一―一六及

有賀 教授 ヲコリント前書)

有賀 教授 近代ドイツ神學書講讀

哲學茶話會

六月十六日(土)午後二時
於文學部會議室

カント圖式時間論の成立

森口美都男

要旨 純粹理性批判は哲學である所の論理學である。このことは、カントが自らその課題を「超越論的文法學」transcendentale Grammatikと呼んでいることによつて支持される。彼は形而上學的眞理、つまり純粹表象と對象との對應の保證を、六〇年代に立つていた實證主義よりも一つ深い次元に於て問う。解決は、この問いを主賓の一致という形で問ひ直すことによつて得られたが、命題聯關の平面をもともと突破してゐる様な性格をもつ眞偽を、敢て命題のコトバで問ひつめた所に、彼の幸運と洞察の深さと共に、理解の困難さの理由も亦見出される。かゝる眞理、即ち先天綜合命題の可能性は、純粹悟性概念が存在し、之が時間に關して作圖されうること——幾何學的作圖のアナロジー——、そして與行きをもつた客觀的時間が之によつてはじめて産出されることによつて保證される。命題聯關における文章論的構造の、對象の範疇的分肢構造(之が時間のかたち)への基礎的制約關係が、形而上學的眞理の存立の地盤であるとともに、一般に記號と與件との實證的對應をも基礎づける。圖式時間論の有する「意味論」的含蓄は、七〇年代の成立史的研究によつて示唆される所多く、後者は單なる歴史的興味をこえて、知識哲學の最も今日的な課題にも光を投ずる『超越論的意味論』としての包括的なカント解釋は、今後の研究にま

ちたい。

寄贈雜誌論文目次 (受領順)

愛知大學 (愛知大學・文學會) 第三輯
文學叢誌 (十一月)

新撰萬葉原撰本の出現
我國古代樂器小論
一琴を中心として
胡蝶の家祭
一文化社會學の見地から
阿片戦争當時に於ける清朝と
ネパール及び英印との關係
貴門人別政策とその資料的
價值について
一農村調査の資料結晶として
市民の教育
一ヘーゲルにおける「權能」と「教育」

久曾神 昇
藤井 制心
秋葉 麗
鈴木 中正
川越 淳二
細道 朝夫

美 學 (美學會) 第三輯 (十一月)

蘇東坡の美術思想
カントと理想方の構畫
藝術における批評の意義と役割
文藝批評の科學性と藝術性
美術批評について
現代音樂における批評の問題
感情移入美學について

矢代 幸雄
北島 常道
北條 元一
針生 一郎
今泉 篤男
阿部 次郎
岡田 南雄

史學雜誌 (史學會) 第五十九編第十一號
(十一月)

シナクソニアン・デモクラシー
と東部の勞動者
一シジュンガー・ジュニア學說批判
臺灣前代における中南部地につて
國語の姓と系譜
最近におけるアメリカ史學の發達

三浦 進
杉本直治郎
阿部 武彦
ノールズ

讀書春秋 (國立國會圖書館・春秋會) 第
一卷第八號(十一月)
國立國會圖書 第二十一號、第二十二號
館・收書通報 (九月、十月)

經濟學 (大阪商科大學・同經濟研究
所) 第二十三卷第四號(十月)

世界經濟と近代經濟學
一ロビンスの所論を中心として

東水 隆出

經濟論叢 (中央大學・經濟・商業學會)
復刊第二號(十二月)

價值學を中心とする國庫財政の分析
青木 得三
チンマーの協同組合と内國商業
上林 正垣
社會政策の本質について
矢島覺太郎
價值法則と労働一般
石原 忠男

經濟論叢 (京都大學・經濟學會) 第六十
六卷第四號(十月)

預金銀行における信用制度の意味
スガフチエーの現實論的簿記理論
ヘーゲル市民社會思想の根本的構畫
平井 俊彦
中谷 實
岡本 愛次

山形大學 (山形大學・人文科學) 第二號
紀要 (十二月)

和泉式部日記兩系統本の比較研究
家持樂とその原形
赤入及び千里兩樂の研究
古代籍聚の郷土と房戸について
トマス・モアの平和思想につて
アリストテレス時間論の一考察
美への不信 (Charlotte Henric
の特異性)
ヘツベルの「フヘーデスとマリア
ムス」に於ける楚の問題

葛多 義男
熱田 寛海
後藤 利雄
岡本 聖次
村岡 實
笹谷 満
深町 弘三
中野 康存

文化 (東北大學・文學會) 第二卷第
四號(十月)

本邦上古の海運
雜詩と語部
東北地方の編織式文化

吉田 良一
倉我部靜雄
伊東 信雄

三種の礎點成立の一考察
一橋論叢 (東京商科大學・一橋學會) 第
二十四卷第六號(十二月)

特集 教育學
ジョン・ロウの教育論
學校論一教育の場設定に関する一考察
多田 兼雄
一橋論叢 第二十五卷第一號(二十六年
一月)

特集 外國文學
「ゲッツ」の問題
スコットの小説
キーツに於ける詩の成立
英語における分析的動詞形式の發生

關 泰節
海老池俊信
菊池 互
山川芳久男

史學雜誌 (東京大學文學部内史學會)
第五十九編第十二號(十二月)

報誌の消息について
一服部之總氏の批判に答えて
新編シイダル社會の農業問題
一七六〇一七八二〇
佐口 透

國語國文 (京都大學・國文學會) 第十九
卷第三號(十二月)

物語音韻論序說
一澤氏物語の本性(其一)
矢木和歌抄成立論
日本文の字面
一かたかなおぼえ書一
大矢數題材考見(續)
喉内訓尼の國語化に關して

玉上 辰彌
濱田 博章
村上 優廣

哲學雜誌 (東京大學文學部内・哲學會)
第七〇八號(九月)

前田金五郎
奥村 三雄

哲學研究 第四百三號

近代の批判と超克
「類人」と「永劫回帰」との
二律背反・第一部
ニーチェ評價の方法
最近のカトリック的ニーチェ観
ニーチェ序説
ニーチェとフラスコウツェ・
フイロロギー
ナスベルスのニーチェ観

金子 武藏
鈴木 三郎
野村 良雄
原 佑
齋藤 忍階
茅野 良男

經濟誌 (大阪商科大学經濟研究所) 第
二十六卷第五・六號 (十二月)
人民民主主義の政治と經濟
人民民主主義の性質について
上林貞治郎

一橋論議 (東京商科大学一橋學會) 第二
十五卷第二號 (二十六年二月)
特輯 自然科學
生物物理學より見た自然法則と
その境界
磯化儀をめぐる問題
論理器具としての可算分配東計算具
大田 公淳
酒井 紫郎
山口 益
神代 敏通

密教文化 (高野山大學内密教研究會) 第
十二號 (十二月)
總編輯 密教研究會
金剛頂經三世大佛藏法王教中
尊自在慈露心法言一切如來灌
花大摩摩羅品について
迦羅論の註釋的研究
MRAに就て
一 道德復興運動要録
一 道德復興運動要録

PHILOSOPHIA (早稲田大學哲學
會) 第十九號 (十
二月)
岩崎 勉
仁戸田六三郎
米田 昭三
石田 潤
渡利 彌生

否定の境界と無
ニヒリズムといふもの
ニヒルの超克
日本のニヒリズムの一面
關學と和學との原理について

カントに於けるアンティノミー
の問題
馬頭觀音考
歴史的時間について
上代彫刻の光背に関する二三の問題
ヘーゲルの體系と精神の論理
キエルケゴールの眞存哲學に
於ける自己の問題
比較作用における單・刺戟法
に關する考察

川原 榮峰
千湯 龍祥
長澤 信雄
山口 鐵雄
山本 清幸
佐々木一義
船津 孝行

讀書春秋 (國立國會圖書館內春秋會)
第二卷第一號 (二十六年一月)
第二卷第一號 (二十六年一月)
第二十八號 (二十五年三月)
宗教的半體性の論理(二)
一 信の本質構造
東インドにおけるキリスト教
宣教師の學的審判
キリスト教の對アイリツピン
流傳中國へ傳道
蒙古文より見たる滿州符録の研究(二)
朝鮮語文法(一) 普通篇
一 朝鮮文學の概観と發音

日本語文化 (天理大學宗教文化研究所) 第
二十八號 (二十五年三月)
諸井 慶徳
中村 孝志
少名子正義
山崎 忠
齋藤 辰雄

國語國文 (京都大學國文學會) 第二十卷
第二號 (二十六年二月)
文學は一人情を道ぶの說
所讀「明語菫花月集」について
新古今集一未歌歌
フランスに於ける國文解釋
價值論におけるリカアデより
マルクスへ
保險における需要と供給
國際經濟の比較動學的分野
スルタン一國家收入論(一)について

中村 孝志
山崎 忠
齋藤 辰雄
伊吹 武彦
谷山 辰雄
富田 正信
岩田 茂
岸本誠二郎
佐渡 實平
佐嶋 彌夫
廣田 清朗

經濟論叢 (京都大學經濟學會) 第六十
六卷第五・六號 (十二月)
價值論におけるリカアデより
マルクスへ
保險における需要と供給
國際經濟の比較動學的分野
スルタン一國家收入論(一)について

六二

預金貨幣論
關橋 保

哲學會誌 (中央大學哲學會) 第一號 (十
一月)
東洋に於ける個人及び自由の意識
ナスバース「現代の精神的狀況」
について
實存哲學に於ける自由と理想
「ナスバース」哲學的論理學の主題
カント「永久平和論」の法哲學的考察
哲學すること
印度諸思想家の見たヴェーダーンタ
我が國資本主義發達と其の矛盾
一 江戸文學に現れたる點を中心として

中村 克巳
楠崎 種一
水澤 清江
倉橋 克
山田 秀夫
堀江 俊藏

研究
復雜な思考の實踐におけるオペ
レーション
視野の争に及ぼす先行條件の効果(二)
時間知覚装置
意識人の察系調査
經濟社會學者としてのマックス・
ウェーバー
明治後期の農村經濟

阿部 行藏
城藤 雅夫
林 信行
山田幸三郎
大村 晴雄

人文學報 (東京都立大學・人文學會) 第
三號 (一月)
アメリカ宗教の成立と問題
價值論の構造
「社會的労働の一法則」と
その貴族形態について
ヘーゲル・メルザイ
一 作品 Reithum を中心として
「一キリストの族」
ヘルデルにおける世界史の構想(下)

阿部 行藏
城藤 雅夫
林 信行
山田幸三郎
大村 晴雄